

全5回

キャンパスおだわら
令和7年度 行政講座

① 10/30 (木)

13:30~15:30

会場：生涯学習センターけやき

昭和の人々の記録
—ドキュメンタリー取材の
現場から—

② 11/6 (木)

13:30~15:30

会場：生涯学習センターけやき

戦争世代の昭和の日記
—小田原に生きた
ある材木商の記録—

③ 11/20 (木)

13:30~15:30

会場：中央図書館

映画は娯楽の王様だった
—小田原の映画館の記録—
(公開講座)

④ 11/27 (木)

13:30~15:30

会場：生涯学習センターけやき

市民会館の記録
—小田原の文化活動—

⑤ 12/11 (木)

13:30~15:30

会場：中央図書館

昭和の小田原—まちの変遷—
ワークショップ
「昭和を調べてみよう」

今年、昭和100年。
様々な昭和の記録から、暮らしに
楽しみを見出してきた昭和の人々
の様子を知り、次代に何を伝えて
いくかを考える全5回の連続講座
です。
どなたでもお申し込みできます。
(各講座の講師と内容は裏面)

※いずれの会場も駐車場が限られています。公共交通機関でのご来場にご協力ください。

定員 20人

受講料 2,000円

・1次募集 9月1日(月)~9月30日(火)

電話または電子申請 (申込多数抽選・市内在住優先)

・2次募集 10月6日(月)~開催日前日

1次募集で定員に達しない場合、電話のみ(先着順)

電子申請



【公開講座のみ受講】 募集 10月10日(金)~開催日前日

詳しくは広報10月1日号、ホームページ等でご確認ください。

申込・問い合わせ電話番号 **0465-33-1882**

受付時間9:00~17:00

第4月曜日の休館日は電話受付できません。

電子申請は24時間受付。

昭和という時代 文化と暮らしの記録から見る世相

令和7年度キャンパスおだわら行政講座

昭和という時代～文化と暮らしの記録からみる世相

① 10/30 (木) 生涯学習センターけやき 視聴覚室

昭和の人々の記録—ドキュメンタリー取材の現場から—

映像クリエイター 林 伸昭 氏

昭和の半ばに登場したテレビは、大きな存在感を放っていました。数々のテレビ番組の制作に関わってきた講師から、制作の裏話や取材で出会った思い出深いエピソードを伺います。

② 11/6 (木) 生涯学習センターけやき 大会議室

戦争世代の昭和の日記—小田原に生きたある材木商の記録—

小田原史談会 松島 俊樹 氏

明治44年生まれ、材木商で自治会長としても活躍した市井の文人高田喜久三さんが遺した日記やエッセイなどから、リアルな昭和を追体験します。

③ 11/20 (木) 中央図書館 (かもめ図書館) 視聴覚ホール

【公開講座】映画は娯楽の王様だった—小田原の映画館の記録—

鑑賞 16ミリフィルム上映

講演 小田原の消えた映画館について 東海映画館文化研究会 澤田 佳佑 氏

戦後の日本に存在した約10,000館の映画館の情報を公開するサイト「消えた映画館の記憶」を運営する講師から、昭和の小田原の映画館についてお話しいただきます。

対談 映画は娯楽の王様だった 澤田 佳佑 氏・小田原シネマ館長 鈴木 伸幸 氏

澤田氏と昨年小田原に開館したミニシアター館長の対談をとおして、これからの映画の可能性や映画館という場について考えます。

④ 11/27 (木) 生涯学習センターけやき 視聴覚室

市民会館の記録—小田原の文化活動—

市民会館思い出アーカイブ隊/エッセイスト 深野 彰 氏

昭和37年に開館し、令和3年に閉館した小田原市民会館。小田原の文化の中心だった市民会館を記録しようとした市民会館思い出アーカイブ隊の活動の成果を報告します。

⑤ 12/11 (木) 中央図書館 (かもめ図書館) 集会室

昭和の小田原—まちの変遷—

中央図書館 星野 和子

まちの姿は、政策によって大きく変容していきます。市史編さん事業に携わった地域資料室職員から、昭和の小田原のまちの変遷を学びます。

ワークショップ「昭和を調べてみよう」

昭和の小田原を伝える地域資料等を実際に手に取り、調べてみましょう。講座を振り返り、私たちは昭和から何を学ぶのか、そして次代に何を伝えていきたいのかをみんなで考えます。